

放送セミナー2016

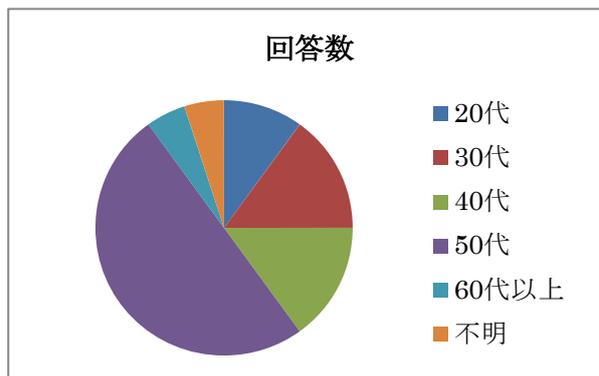
【アンケート集約結果】

- 日時 平成28年10月28日(金) 13:30~17:30
- 会場 興雲閣 大広間 (島根県松江市殿町1番地59 松江城山公園内)
- 主催 総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会、松江市(共催)
- 参加者数/アンケート回収数 66名/20名 (回収率 30%)

1. あなたの年齢、性別を教えてください。

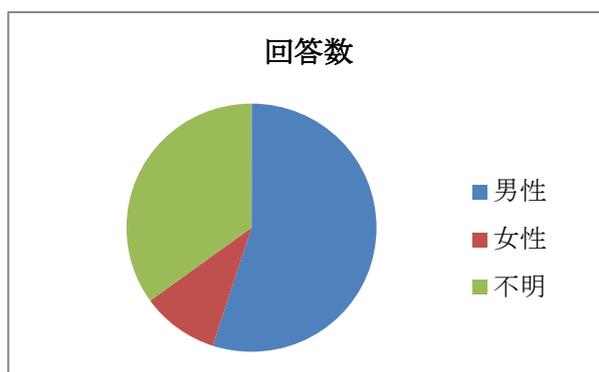
(1) 年齢: 20代・30代・40代・50代・60代以上

区分	回答数
20代	2
30代	3
40代	3
50代	10
60代以上	1
不明	1
合計	20



(2) 性別: 男・女

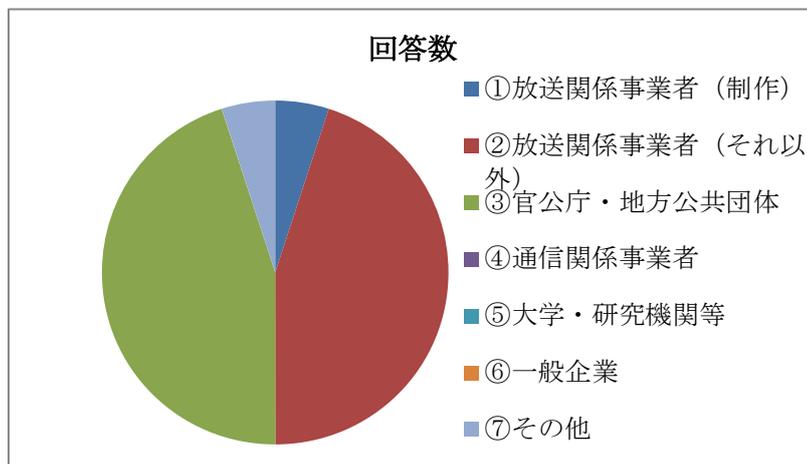
区分	回答数
男性	11
女性	2
不明	7
合計	20



2. あなたの現在の所属についておうかがいします。次の①~⑦の中から選択してください。

- ① 放送関係事業者(制作) ② 放送関係事業者(それ以外) ③ 官公庁、地方公共団体 ④ 通信関係事業者
- ⑤ 大学・研究機関等 ⑥ 一般企業 ⑦ その他

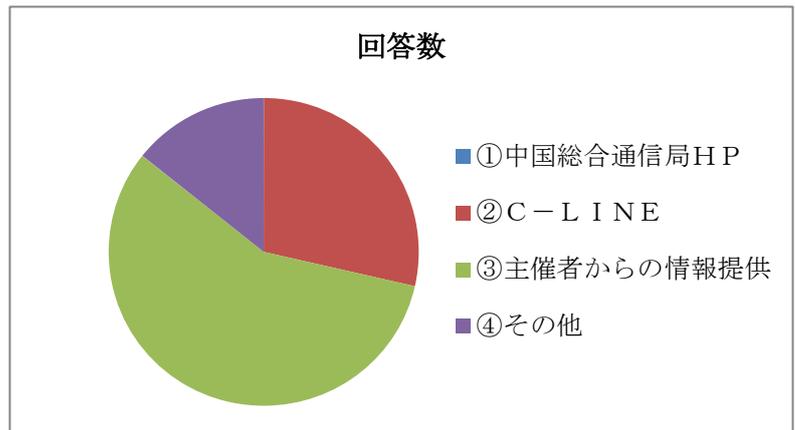
区分	回答数
① 放送関係事業者(制作)	1
② 放送関係事業者(それ以外)	9
③ 官公庁・地方公共団体	9
④ 通信関係事業者	0
⑤ 大学・研究機関等	0
⑥ 一般企業	0
⑦ その他	1
合計	20



3. 本日のセミナーにつきまして、どのようにお知りになりましたか。次の①～④の中から選択してください。

- ① 中国総合通信局ホームページ ② 中国情報通信懇談会のC-LINE ③ 主催者からの情報提供 ④ その他

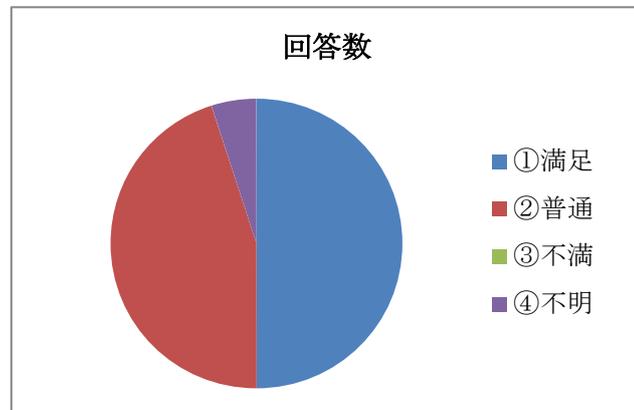
区分	回答数
① 中国総合通信局HP	0
② C-LINE	6
③ 主催者からの情報提供	12
④ その他	3
合計	21



4. 本日のセミナーの開催時期について満足度を教えてください。

- ① 満足 ② 普通 ③ 不満

区分	回答数
① 満足	10
② 普通	9
③ 不満	0
④ 不明	1
合計	20



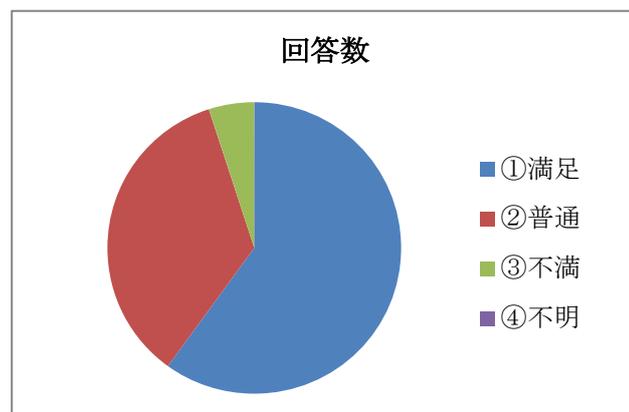
不満とされた方は具体的な理由をご記入願います。

・机がほしい

5. 本日のセミナーの開催場所（松江市）について満足度を教えてください。

- ① 満足 ② 普通 ③ 不満

区分	回答数
① 満足	12
② 普通	7
③ 不満	1
④ 不明	0
合計	20



不満とされた方は具体的な理由をご記入願います。

・駐車場確保

・松江市在住のため参加がしやすい。

6. 本日のセミナーに参加された目的を教えてください。

- ・今後の仕事の参考に
- ・興味深い項目があったため
- ・共催しているから。山陰ケーブルビジョンの講演があるから。サンテレビとケーブルテレビの協力、連携は興味があった。
- ・県の広報、プロモーション戦略の参考になればと思い。
- ・各放送事業者の取り組みや、今後の放送業界について考える機会になると思ったから。
- ・地方創生の推進に向けた放送・映像メディアの戦略的な活用方策を探るため。
- ・自治体のブランド戦略、メディアと連携した情報発信を学ぶため。
- ・各種情報収集。
- ・情報収集。
- ・くま蒙のブランド戦略とメディアミックスの事例を知りたかった。
- ・情報・状況収集。
- ・熊本県のキャラクター展開のついて勉強したかった。
- ・山陰ケーブルビジョンさんの新たな試みとケーブル事業者とサンテレビ（放送事業）との協業について確認したかった。
- ・放送と何かのメディアミックス、連携の可能性について普段から興味があり、参考にできるものがあればと思って参加させて頂きました。
- ・地域メディアを活用した事例を学ぶことにより、今後より多くの地域観光資源を全国にPRする手法を学ぶため。

7. 本日の各講演につきまして、ご感想等をご記入願います。

① 「くま蒙」のブランド戦略と NEXT STAGE」

【講師】 熊本県 四方田 亨二 氏

- ・とても楽しい講演と内容でした。仕事も楽しむことが大切だと思います。
- ・自治体が地域活性のため取り組んでいる最も有名な例で参考になった。
- ・熊本県の本渡というまちに行ったことがあります。橋を5つくらい渡ってようやく着いたその地で、とても温かいおもてなしを受けました。まだくま蒙が生まれていない頃です。知事や職員さんも素敵な考え方で、くま蒙もさることながら熊本県への親しみが一気に深まりました。県が、くま蒙がしっかりしているから熊本はきっと復興をとげて、もっともっと素敵な街になるでしょう。素敵な話をありがとうございました。
- ・「皿を割れ」のチャレンジ精神がすごいと思った。自治体の枠にとらわれず、だれでも熊本県の発展につながっていく取り組みが参考になった。
- ・どのようにくま蒙を人気者にし、くまもとを売っていったのか、分かりやすく紹介していただいて参考になった。
- ・参加型やいろいろ挑戦することはとても大切だと思う。姿勢がとてもすばらしいので見習いたい。
- ・経済効果の詳細な数字を知りたい。(観光客がたくさんというだけでなく、くま蒙によって来県した、という差が分かる数字について)
- ・キャラクターからPRしていく戦略と施策として県が主体となっているのは大胆だと感じました。
- ・ターゲット、ストーリーなど長期的な展望を持った戦略を持って取り組んでおり、参考となる点が多くあった。
- ・すばらしい熊本県のプランニングを参考に「松江」を全国に発信したい。
- ・「皿を割る」という精神で何事にも積極的にチャレンジしていく姿勢が大切だと感じました。
- ・ブランド戦略の独自性が成功事例として興味深く聞けた。
- ・ブランド戦略が非常に興味深かった。VTRを見せる講演は分かり易かった。
- ・精力的な展開と資金力により頑張っているらしい。
- ・大変面白いお話で参考になりました。行政でここまで割り切った取り組みをするにあたり、コーディネーターの相当なる実力と首長の覚悟が感じられました。
- ・くま蒙について ただ可愛いだけのキャラクターで無いことを知ることができ、参考になった。
- ・まず放送メディアからではなく、口コミやSNSを使って徐々に放送とのメディアミックスを拡げ、最終的に全国的にブレイクし、震災復興の一躍も担った「くま蒙」の事例について、当事者からお話を聞けてとても参

者になりました。

・「くまモン」がデザイナーさんのおせっかいで生まれたという話に驚きました。お互いのそのちょっとしたプラスαの仕事が大きな効果を生むのですね。行政の方なのに大変前向きな仕事ぶりだから多くの収穫があったことが素晴らしいです。途中のムービーもすごく分かりやすく、インバウンドを意識したくまモンのPVも面白かったです。実行へと向けたスピーディーな企画や、積極的な広報への姿勢など、学ぶものがたくさんありました。

②「地域活性化へ近隣CATV連携による可能性と共同制作番組への展開」

【講師】 株式会社サンテレビジョン 小畑 泰寛 氏

- ・放送事業者、ケーブル事業者の連携が進むことを期待する。
- ・情報発信とそれに関わるコストのバランスをどの様に考えるかという難しい課題があると感じた。ただ、この連携の取り組みがより発展していけば、新たな可能性を秘めていると感じた。
- ・講演内容が専門的であり、あまり参考にならなかった。地方ケーブルテレビ局のパワー不足を痛感！
- ・ケーブルテレビとの共同事業を前向きに取り組んでおり、良い事例を知ることができた。
- ・CATV参加社の拡大に期待したい。
- ・面白い取り組みと思いました。何か統一感を持って次の一手があるといいと思います。(岡山県が鳥取県の番組を作るとか、他県の紹介をし合うとか。
- ・CATV同士で広域にサービスするのは良いと思う。収入源については地域の企業だけでなく、大きい企業でものりやすいと思う。
- ・番組共同制作など、色々と新しい取り組みをされる中で、ご苦労も伺えて興味深く伺った。
- ・民放キー局のようなスポンサー獲得は難しいことがわかった。地域に根ざした番組作りを協力していることは、各地域の発展につながると思った。
- ・放送事業者としてCATV社と多角的な取り組みをされており参考になった。
- ・CATVの広域的な取り組みの目的がわからない。取り組みの努力はわかるが、成果がわからない。地域活性化につながるのか？
- ・ケーブルテレビとの共同制作の課題が参考になった。
- ・情報の活用について参考になった。
- ・独立U局のあり方とケーブル事業者によるコラボの展開に興味を感じた。
- ・地上放送事業者とCATV事業者は、放送事業者という意味では同じかもしれないが、企業形態やサービスエリアの違いによる役割の受け持ちは、それぞれ異なる部分もある。その両者が番組の共同制作という展開をした場合のメリット、デメリットについて勉強させて頂いた。どちらも民間企業であり、地上放送事業者は番組をCM出稿につなげたいだろうし、CATV事業者は加入者増加につなげたいと考えるのが素直だろうし、どうしたらそれを実現していけるのか考えさせられた。また、今回はエリアの違う地上放送事業者とCATV事業者の共同番組制作であったが、同一エリア内の場合は、同じ番組を同じ地域で放送することになるので、また違う問題も発生するだろう。いずれにしても、今後は地上放送事業者とCATV事業者が協力することで、事業者にも視聴者にもメリットが生まれるような取り組みを考えていきたいと思いました。
- ・連携事業番組の内容がとてもよく分かりました。いちばん市民に近いメディアとして、ケーブルテレビさんが大いに活躍することで地域もあらたな可能性を見いだせる様な気がします。

③「メディアミックスによる地域密着と情報発信」

【講師】 山陰ケーブルビジョン株式会社 原田 光明 氏

- ・様々な連携の取り組みがなされていることが理解できた。
- ・民放局とCATV局が連携することにより、編成枠に限りのある民放の課題をCATVがカバーするという新たな形がとれることがわかった。また、松江警察署との協定の中で、訪問業務等でチラシを配布するなどは、CATV局ならではの細やかな対応だと感じた。
- ・地域密着型の情報発信は、地元の人の思いが必要である。
- ・利用者目線の番組制作、コンテンツの追加に取り組んでおりとても参考になった。
- ・地域密着をテーマに自問自答しながら番組制作を行う姿は、学ぶものが多くありました。

- ・半径10Km、20Km、知り合いが画面にふいに映るという良さがある。緊急放送などについてもメディアミックスの意義がよくわかります。事故、行政情報などについても相性が良いと思います。
- ・データ放送を利用して様々な情報提供はすばらしい。企業と連携してチラシを載せても面白いと思う。
- ・地域密着で様々な取り組みを行っておられ参考になった。今後も地域活性化に向けて頑張ってください。
- ・市民の興味がわく内容を取り入れる努力をしておられることに感心した。
- ・野球、バレーボールの他にも、もっと色んなスポーツや文化活動も生中継で放送して欲しい。あと、YouTube動画について、マールらしいと思うのですが、熊本県のセンス、クオリティを目指して頑張ってください。
- ・メディアミックスに向け様々な試行にも取り組んでおられ参考となった。
- ・もっと自主番組を作るべきだ！市民の求める番組が1つになることなどない。多様性があるもの。柱をもって番組制作してほしい。地域の人々が主役のTV。
- ・まつえレディースハーフマラソンのTSKとのメディアミックスが参考となった。
- ・ケーブルテレビならではの情報による展開は努力が感じられ良いと思う。
- ・地元放送事業者（TSK）そして他県の放送事業者とのコラボについて大変参考になった。
- ・時間分割したメディアミックスの例であったが、機材や人材までミックスすれば、もっと良い何かが生れたのではないかと想像しました。
- ・別件会議のため退席し、お話を伺うことができませんでした。残念！

8. 地域の活性化に向けて、今後、放送メディアに期待することや役割は何だと思われますか。

- ・地域発情報の効果的な発信。
- ・情報発信をするプラットフォームとして機能できるか、また、利用してもらえるか（価値を見出してもらえるか）ということが課題であり、テレビ以外のインターフェイスでどのように接触してもらえるかを考えていく必要がある。
- ・大都市集中の情報発信だけではなく、地方からの情報発信のキーパーソンは、ローカル放送メディアにあると思う。
- ・生きた情報を素早く伝えること。
- ・役割は新しい情報、めずらしい情報の提供。期待は継続しつづけること。
- ・地域情報の発信など、地域密着型サービスの展開。特に海外、インバウンドを意識した良質なコンテンツの作成。
- ・地域情報の発信が、地域を飛び出す方策について、ケーブルテレビ局も念頭に置いていただいていることをうれしく思った。
- ・地域活性化を目指すなら、放送に携わる人がまずその地域のことをよく知ることが不可欠だと思う。うわべだけ取材してもそれは地域住民に少なからず伝わる。
- ・シンポジウムやセミナーを含め、先進的に取り組んでいる事例を様々な視点で紹介していただく機会を数多く開催していただきたい。
- ・今日はあまり期待が持てませんでした。今後のTVに期待します。
- ・正確な情報を提供すること、非常災害時の情報提供など。
- ・地域に誇りが持てるような放送を行っていくこと。現在はすべてが中央基準。地方がそれぞれに中央並みの価値観を持ちながら情報発信をしていかなければ、いつまでも地方の壁は打破できないと思います。
- ・鳥取県においても、まんが王国やポケモンGoの取り組み等、放送メディアを通じた全国発信で地域活性化に結び付けられた例も既に沢山ある。地域活性化のためには、今後はこれらに加え、「地方企業の全国進出を手助けする」という取り組みが必要になってくると思われる。平井知事の発言で有名になった「すなば珈琲」や「ブリリアントアソシエイツ（ピンクカレー）」に関する広報・広告活動も地域の盛り上げに一役かっている。今、自治体（連合体）が大山（だいせん）の開山1300年を全国にアピールしていこうという取り組みがあり、これに地域の企業をフィーチャーして、大山の美味しい食材を用いたレシピ開発する取り組みをコーディネートし、これらをコラボレーションさせて食の博覧会に出展しアピールする等、全国発信する事業を当社がプレゼンし採用された。このように、放送メディア側からの提案力も試されている。一体となって地域を盛り上げていきたい。
- ・J-COMふるさと情報番組（全国のケーブルテレビの情報を繋ぎ、テレビ、ネットで発信する番組）など、連携をさらに広げることで、より地域の情報を細かく発信できそうな気がする。ネットニュースにはない「正しい情報を伝えること」は、

放送メディアならではのメリットだと思うので、そこを活かしつつ誇りを持って取り組んでいただけたらと思います。

9. 自治体の放送メディアの利活用についてどう思われますか。

- ・放送と通信を積極的に活用することが有効と考える。
- ・ネットが急速に普及しているが、一般の人が情報を得る手段としてテレビが依然として重要である。地域情報から安全・安心に関する情報まで、あらゆる情報をテレビでも引き続き積極的に発信する必要があると思う。
- ・災害時の避難場所の情報は有効だと思う。
- ・とても良いし、協力しやすいことは多い。どんどん利活用してほしい。
- ・自治体の広報番組はもちろん、コンテンツ作成などで活用したい。
- ・これまでの枠にとらわれず積極的に活用すべきだと思う。
- ・難しい点もあるでしょうが、様々な展開できる要素があると想定されるので、今後検討を広げる余地は多いと感じている。
- ・もっと見て楽しい放送となるように、くまモンの取り組みのように！
- ・L-アラートへの情報提供に期待します。
- ・くまモンの例も含め、地域のために積極的に放送メディアを活用して頂ければ本望です。
- ・資金面もあるが島根県はまだまだ。熊本や関東圏などの事例を参考にしつつ、メディア事業者と協力体制の推進が必要。

10. ご意見・ご要望について

セミナーに参加されてのご感想や、放送分野に関して今後セミナーで聞きたいことや関心のあるテーマ、セミナーへのご意見・ご要望などございましたら、ご記入願います。

- ・ケーブルテレビ局が行政に何を求めているのかをテーマにしたセミナーがあればぜひ参加したいと思います。本日はありがとうございました。
- ・勉強になりました。ありがとうございます。
- ・くまモンの話はよかった！そのような話が聞けるセミナーを企画してください。
- ・もっと中身のあるセミナーをとりましたが、不満があります。10年たっても変わらないですね。
- ・ネットへの番組配信、4K・8K放送。
- ・先進的な情報が得られる場所として期待します。
- ・地域の海外展開をもっと気軽にできるような方法を学びたい。
- ・今回は広島県以外で初めての開催ということでした。中国5県各地で開催されればいいですね。自治体の放送メディア利活用の先行事例を沢山伺いたいと思っています。
- ・補助金の活用方法など、昨年からのセミナーを開いていただいているおかげで内容がずいぶん分かりやすくなりました。フィルムコミッション事業の中で、今日の情報を活かしながら、より多くの番組を全国、世界に発信できるよう取り組んでまいりたいと思います。地域おこしに実際効果の高かった番組事例なども、今後伺えたらと思います。よろしく願い致します。